

イノベーションサミット2019

～「イノベーション立県」の実現を目指して～

広島県は、雇用や所得を生むイノベーションの推進を県政の柱と位置付け、「イノベーション立県」の実現を目指しています。こうした中、本県と連携協定を締結している東京大学とともに、広島県の新たなビジネスサービスの創出に資する取組を推進しています。

今回、この取組の一環として、「イノベーション」をテーマとした基調講演とパネルディスカッション(第1部)、スタートアップ企業によるビジネスプランのプレゼンテーション(第2部)を開催します。

主催  広島県  東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 協力 

🕒 日時 2019年2月7日(木) 13時～17時(12時30分受付開始)

📍 場所 NTTクレドホール(パセーラ11F) 広島市中区基町6-78

参加無料

👤 基調講演



東京大学大学院
工学系研究科 特任准教授
松尾 豊

1997年東京大学工学部電子情報工学科卒、2002年同大学院工学系研究科電子情報工学博士課程修了。博士(工学)。同年より独立行政法人産業技術総合研究所研究員、2005年よりスタンフォード大学客員研究員、2007年より東京大学大学院工学系研究科准教授、2014年より同特任准教授(現職)。2015年より産業技術総合研究所人工知能研究センター企画チーム長(現職)、2017年より日本ディープラーニング協会理事長(現職)を兼任。専門は人工知能。

👤 パネルディスカッション



東京大学大学院 情報学環 専攻長
中尾 彰宏

1991年東京大学理学部卒業、1994年同大学院修士課程修了。IBMテキサスオースチン研究所、東京基礎研究所などを経て、プリンストン大学大学院コンピュータサイエンス学科にて修士・博士学位取得。2005年東京大学大学院情報学環 助教授に就任。2014年2月教授(現職)。2014年第5世代移動通信推進フォーラム(5GMF)ネットワーク委員長兼任。2016年学際情報学専攻長(現職)。専門は情報通信。5G/IoTに関する複数の産学連携プロジェクトのリーダーを務める。(広島県出身)



広島県知事
湯崎 英彦

1990年東京大学法学部卒業後、平成2年通商産業省入省、平成7年スタンフォード大学MBA取得、平成10年米国VCイグナイト・グループ出向、平成12年退官後、株式会社アック・ネットワークス設立、代表取締役副社長、平成17年JASDAQ上場、平成20年同社退社、平成21年広島県知事選で初当選、現在3期目(広島県出身)



株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役社長
加藤 百合子

1998年東京大学農学部卒、英国で修士号取得後、NASAのプロジェクトに参画。帰国後は、精密機械の研究開発に従事するも、子育てから農業の大切さに気付く。2009年エムスクエア・ラボを設立。2012年青果流通の取引先を取組みに変える「ベジプロバイダー事業」で日本政策投資銀行第1回女性ビジネスプランコンテスト大賞受賞。農業を軸とした事業創造を続け、2017年「やさいバス株式会社」、2018年「グローバルデザインスクール株式会社」を創業。



株式会社リ・パブリック 共同代表
東京大学i-school エグゼクティブフェロー
田村 大

1994年東京大学文学部心理学卒業。2005年、東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。学部卒業後、株式会社博報堂に入社。2009年、東京大学に日本初のイノベーション教育プログラム[i.school]を立ち上げ、ディレクターとしてプログラムの企画・運営を指揮。2013年、博報堂並びに東京大学を退職。地域や組織が自律的にイノベーションを起こす生態系づくりに向けたThink/Do Tank=株式会社リ・パブリックを設立。



